The Global Language of Business

GS1ヘルスケアジャパン協議会　第4回医療従事者向け啓発セミナー

臨床工学部門 DX に向けた GS1 バーコード活用

2019年の改正薬機法によりGS1バーコードの表示が義務化され、医療現場におけるその有効活用が期待されています。臨床工学技士が扱う医療機器や材料に関しても、そのほとんどにGS1バーコードが表示されるようになりました。

医療現場でのDXの一環として、臨床工学部門におけるGS1バーコード利用が始まっています。本講演では、機器の自動登録や添付文書閲覧環境の構築をはじめ、心臓カテーテル検査室における物品登録、ロット番号記録、滅菌期限・処方照合を行える仕組みの導入から、院内外のステークホルダーを巻き込んだ医療材料物流DXへの新たな取り組みなど、現場主導で進めるGS1バーコード活用の実践事例とともに、運用の工夫や残された課題、今後の展望について詳しくお話しします。

2026年 12月 16日（水）

【お申込はこちら】

18:00～19:30

Zoomウェビナー開催（無料）

講師：東京山手メディカルセンター
臨床工学部 副臨床工学技士長　渡邉 研人　先生

GS1 ヘルスケアジャパン協議会

主催：GS1ヘルスケアジャパン協議会
お問い合わせ：healthcare@gs1jp.org